

社会福祉法人 福田会

月次報告書

2025年1月29日 / Vol. 072



ご支援総額

2025年1月26日までの寄付総額

134,321,578円

寄付金使用総額 1zł = 35円計算

3,637,663.46 zł (約127,318,221.1円)

2024/12/18(水)～2025/1/20(月)の期間中の
寄附金使用額

00.00 zł (0円)

*ビジネスポーランド語教室9月～12月分を9月にまとめて支払い済みのため、使用額なし。



協力先NGO Zustriczと打ち合わせを実施

ポーランド語教室をはじめ様々な取り組みで協力をしている、クラクフ市内のNGO「Zustricz」と打ち合わせを実施。今年最も同団体内で支援が必要とされている取り組みが、ウクライナ語の言語聴覚療法だとのこと。多言語空間で生活をする子どもが母語の習得に困難を抱えることが多く、発音の修正等のサポートを求める人が多いという。同団体では、今年5月まではコンサルテーションの実施が決定しており、その後の継続に関する依頼が来ているため今後内部での検討を予定している。その他思春期の子どもに対する勉学のサポートは緊急性が高いとのこと、5月末に予定される卒業試験に向けた大切な時期を迎えることから、ポーランドの学校で勉強する避難児童向けの勉学サポートクラスの導入を検討していく。



現地の動向

ウクライナ避難民のポーランドでの合法滞在は現在2025年9月30日までとなっており、その後に関して公式な発表はされておらず避難民からは今後の政策に関して不安の声も上がっている。合法滞在における条件が厳しくなる可能性もあるとされており、ポーランド語の習得や就労に対する支援の需要がより高まる可能性がある。

今後の支援の予定

2025年2月から思春期の子ども（日本で中学生にあたる学年）に対する勉学のサポート、およびポーランド語B1レベルの講座を開始予定。